

社長の経営哲学の構築にお役立ちする

税理士法人 優和

# 経営者への活きた言葉

TEL 03-3455-6666  
FAX 03-3455-7777

## 経営者への活きた言葉

### 日本は人的資本開示の世界的な先駆者になれる

中島 淳一（金融庁元長官）

- 金融庁が進める企業統治改革は、機関投資家と企業によく対話してもらい、企業価値を上げることを目指している。ただ単に対話しろと言っても何を話せばよいのかわからない。対話の材料として企業が情報を開示することで、資本市場のインフラが出来上がってくる。
- もっとも財務諸表だけでは企業の将来性を読み取りきれない。対話を深めるには従業員のスキルや創造性なども考慮する必要がある。投資家からそのような情報の開示を求める声が出ていたのに応え、有価証券報告書での人的資本開示を義務化した。日本企業と投資家が一丸となって取り組めば、人的資本開示の世界的な先駆者になれるはずだ。
- 女性活躍の遅れや従業員エンゲージメントの低さなど、日本企業は人的資本に関して様々な課題を抱えている。それだけに、人的資本開示を国際的にリードすることは大きな意義があると考えている。創意工夫を競い合い、開示の好事例を共有することで、日本企業全体でレベルアップしてほしい。

(参考:「日経ビジネス」2024年12月23日号)

## 経営者のための理念・哲学

### 「儒・仏・道・禅・神道」が日本の精神文化

田口 佳史（東洋思想研究家）

- 陽明学の祖・王陽明は、衰退への道を歩み出した国は本質を外れて枝葉末節論ばかり繰り返すようになっていっています。いまの日本で行われている議論というのは、ほとんど枝葉末節論に終始しているように感じられてなりません。小さなことに神経を尖らせてばかりで、根本や本質を見逃している。これでは王陽明の言うように、衰退の道を辿っていく一方でしょう。
- 日本には元々神道があって、そこに老荘思想、儒教の思想、仏教、禅が入ってきて、日本の精神文化の根源をなしたと思います。私はこの儒・仏・道・禅・神道からなる日本の精神文化こそが、いま世界が抱えている諸問題を解決に導くと考えています。この儒・仏・道・禅・神道からなる精神文化こそが日本の根源であって、これを取り戻さなければダメだと思います。ところが、この伝統精神文化についての教育が全く行われていない。これは大問題です。(参考:「致知」2025年2月号)

## 経営者のための危機管理

### 地方で倒産ドミノが発生する可能性小さくない

- 円安やインバウンドで消費復活の恩恵を享受する首都圏の大手百貨店とは対照的に、地方百貨店は新型コロナウイルス感染拡大の終息後もなお、苦境が続いている。2024年4月、長野県松本市で創業139年を迎えた老舗百貨店の井上が、2025年3月末で松本駅前の本店を閉めると発表した。同店は施設の老朽化のため大規模な設備更新が必要となっており、閉店という決断に至ったという。
- 業績悪化で立ち行かなくなった地方百貨店もある。青森県弘前市の中三は2024年8月29日に破産手続きを開始し、創業128年の歴史に幕を下ろした。ギリギリの経営で生き延びている地方百貨店にとって、最低賃金の引き上げは人件費増につながり、今後、地方で倒産ドミノが発生する可能性は小さくない。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2024年12月7日号)

## 古典に学ぶ

### 目標を明確に設定すれば、あとは進むだけ

- 一度決めたことに対して、すぐ「でも、〇〇だし」と言い訳するのであれば、いつまでもたっても心はぶれ続け、同じ場所でウロウロしていなければならないでしょう。
- では、言い訳を封じるにはどうすればいいのでしょうか。答えは、目標を明確に設定することです。「ここに行きたい」という目的地がはっきりしていれば、あとは進むだけなので、石橋を叩くまでもなく前進していけるでしょう。

(参考:名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」:河出書房新社)